

法人名	公益財団法人大阪国際平和センター
作成（所管課）	府民文化部人権局人権企画課

○ 経営目標設定の考え方

ミッション

○大阪空襲犠牲者を追悼し、平和を祈念する

○空襲を中心に大阪の人々の戦争体験に関する情報・資料を収集・保存・展示する

○戦争の悲惨さ・平和の尊さを次の世代へ伝え、平和を願う豊かな心を育み世界の平和に貢献する

■ 大阪府の施策

- ・平和施策の推進

基本方針

- 1 平和学習の推進
「大阪中心」に「子ども目線」で「平和を自分自身の課題として考えることができる展示」にリニューアルした平和学習施設として、戦争の悲惨さ・平和の尊さを次世代へ伝える。
- 2 ピースおおさかの利用促進
「大阪空襲を語り継ぐ平和ミュージアムとして国内外を問わず一人でも多くの人に館の利用を促す。
- 3 館外の利用促進
館外での平和の情報発信、ピースおおさかのPRの場としての活用
- 4 自主財源の確保、運営コストの抑制
自主財源の確保による事業実施と、運営コストの抑制により効率的な事業運営に努める。

戦略目標と成果測定指標【中期経営計画上の目標値】

- ① 平和学習の推進
 - ・ 市内小中学校来館率
【28.6%(R1実績)→31.0%(R6)】
 - ・ 学校関係へのPR
【26回(R1実績)→30回(R6)】
 - ・ 平和学習到達度
【90.8%(R2実績)→85.0%(R6)】
- ② ピースおおさかの利用促進
 - ・ 入館者数
【65,980人(R1実績)→72,000人(R6)】
- ③ 館外の利用促進
 - ・ 貸出資料利用件数（デジタルコンテンツ利用件数含む）
 - ・ 出かける展示
【12回(R1実績)→12回(R6)】
- ④ 自主財源の確保
 - ・ 平和寄附金収入1244
【1,059千円(R1実績)→1,155千円(R6)】
- ⑤ 運営コストの抑制
 - ・ 入館者1人当たりの事業費
【1,296円(R1実績)→1,250円(R6)】

法人名	公益財団法人大阪国際平和センター
-----	------------------

II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R5 ウェイト	R4 実績値	R5 目標値	R5 実績値 〔見込値〕	R6 目標値	R6 ウェイト	中期経営計画 (R2~R6)		R6目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合 は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
										R6 目標値	最終年度 目標値		
① 平和学習の推進	平和学習到達度 「ピースおおさかが平和学習の場として役立ったか」という問いに対し、「役立った」/全回答 (選択肢は、「役立った」「役立ったがもう少し工夫・改善があればなお良い」「あまり役立たなかった」「役立たなかった」)		%	10	93.2	90.0	96.2	↓90.0	10	85.0	85.0	平和学習施設としての役割を果たすという考え方で設定した中期経営計画の目標値を基に、過去の実績を踏まえて設定。	・教員向けアンケートによる効果的な平和学習ニーズの把握
② ピースおおさかの利用促進	入館者数		人	15	59,666	65,700	72,543	↓72,000	15	72,000	72,000	少子化等を踏まえ設定した中期経営計画の目標値を設定。	・企画事業の充実 ・日本平和博物館会議やユニセフ・ユネスコ等外部団体との連携 ・会議室活用の誘致 ・学校の来館時期の分散化への取組み
③ 館外の利用促進	貸出資料利用件数		件	10	244	269	285	-	-	390	390	-	-
	貸出資料利用件数(デジタルコンテンツ利用件数含む)	☆	件	-	-	-	-	390	10	-	-	今般の学習形態の変化も考慮して、館外の利用促進を図るという考え方で設定した貸出資料利用件数の中期経営計画の目標値を参考に設定。	・来館が困難な学校に向けたPRの実施 ・貸出資料を増やして対応 ・R6年2月末から提供開始したデジタルコンテンツの広報
	出かける展示		回	10	10	11	11	12	10	12	12	館外の利用促進を図るという考え方で設定した中期経営計画の目標値を設定。	・展示先の確保 ・展示内容の充実

III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

④ 自主財源の確保	平和寄附金収入		千円	15	693	700	877	900	15	1,155	1,155	入館者数の増加との相関関係から計算した数値を設定。	・企画事業等での広い寄附の呼びかけ ・税の優遇措置のPRの継続
⑤ 運営コストの抑制	入館者1人当たりの事業費 (「一般会計」支出合計(事業活動支出額)/入館者数)		円	10	1,508	1,372	〔1,244〕	↓1,270	10	1,250	1,250	入館者数目標72,000人を想定して計算した目標値を設定。	・目標入館者数の達成 ・運営コスト抑制の取組みの継続

- 【凡例】
- ・☆はR6年度からの新規項目
 - ・×は目標値未達成
 - ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
 - ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
 - ・()内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

■ 成果測定指標変更（廃止）希望の理由について

〔1〕

●変更前

R5年度の 成果測定指標	単位	R5年度の 目標値
貸出資料利用件数	件	269

●変更後

R6年度の 成果測定指標	単位	R6年度の 目標値
貸出資料利用件数（デ ジタルコンテンツ利用件数 含む）	件	390

成果測定指標の 変更（廃止）を 希望する理由	<p>学校現場においては、DVDや紙芝居を用いた集合型学習に代わり、タブレット端末を活用した学習が推進されるなど学習形態が変化していると考えている。</p> <p>当法人では、こうしたことを背景に、学校現場に利用を限った学習用デジタルコンテンツの提供を令和6年2月末より開始した。</p> <p>令和6年度からは、従来の貸出資料に加え、デジタルコンテンツの館外利用促進を図っていくこととしており、両方の利用件数をもって、中期経営計画上の最終年度目標390件の達成を目指し、指標を変更するものである。</p>
------------------------------	---

〔2〕

●変更前

R5年度の 成果測定指標	単位	R5年度の 目標値
/		

●変更後

R6年度の 成果測定指標	単位	R6年度の 目標値
/		

成果測定指標の 変更（廃止）を 希望する理由	<p style="text-align: center;">/</p>
------------------------------	--------------------------------------